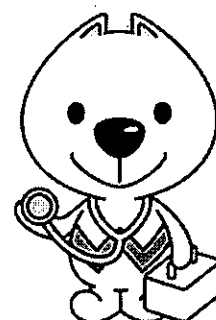


令和 2 年度病床機能報告(確定値)について

ー病床機能報告からみた田辺保健医療圏の現状等ー

- 1 地域医療構想における 2025 年の必要病床数と
現状の病床数 P1 ~ P3
- 2 令和 2 年度病床機能報告 集計結果
(田辺保健医療圏) P4
- 3 非稼働病床の状況 P5
- 4 第 1 回地域医療構想及び医師確保計画に関する
ワーキンググループ P6 ~ P10

田辺保健所



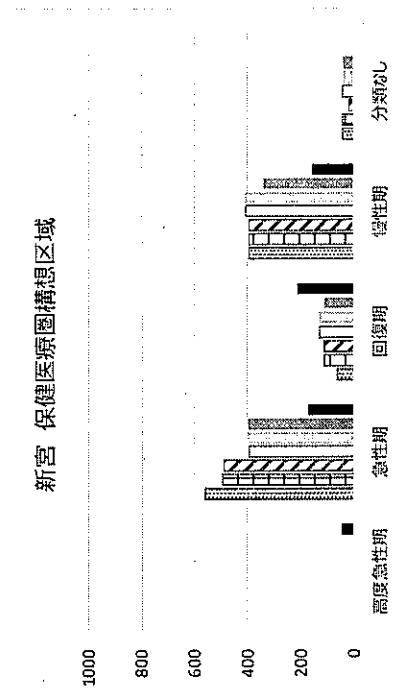
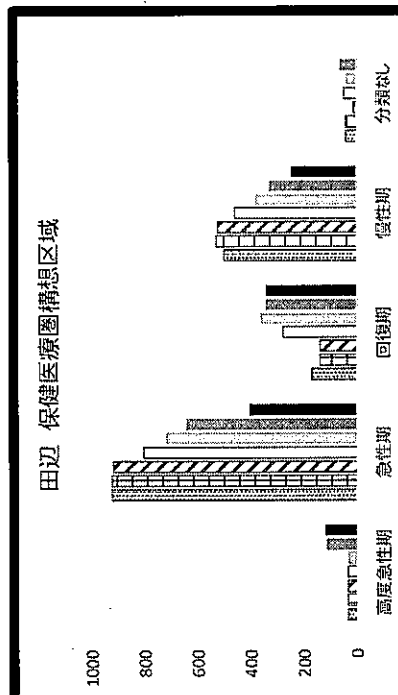
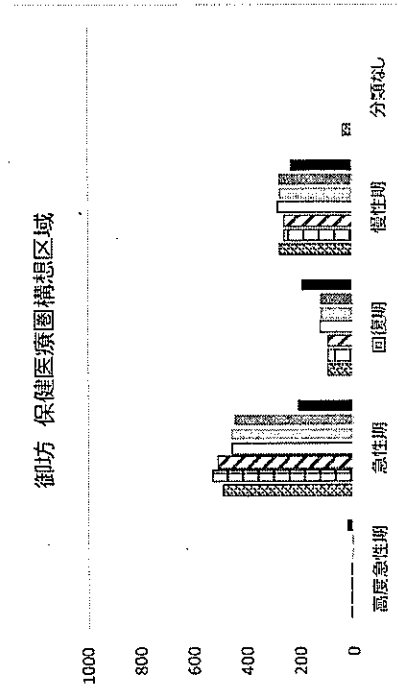
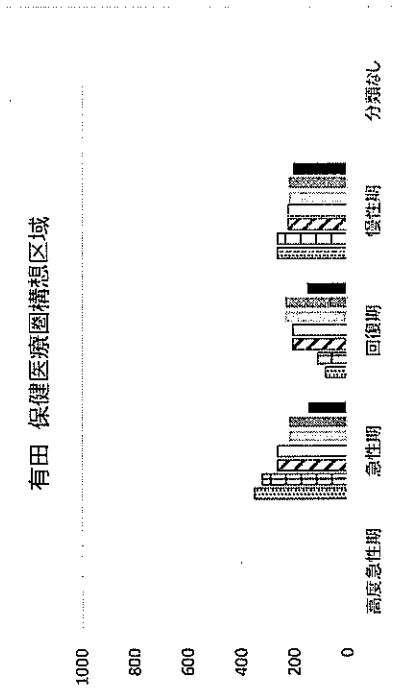
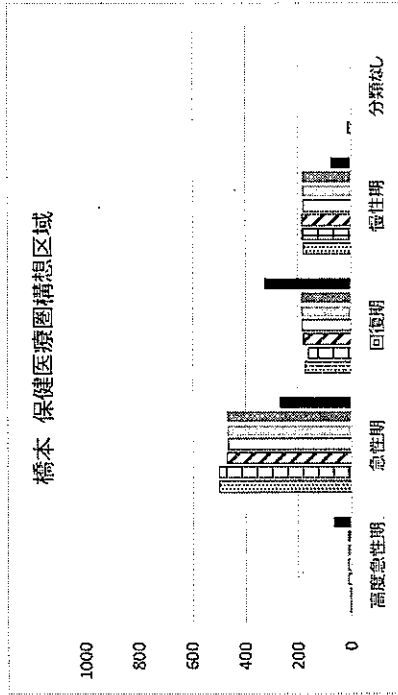
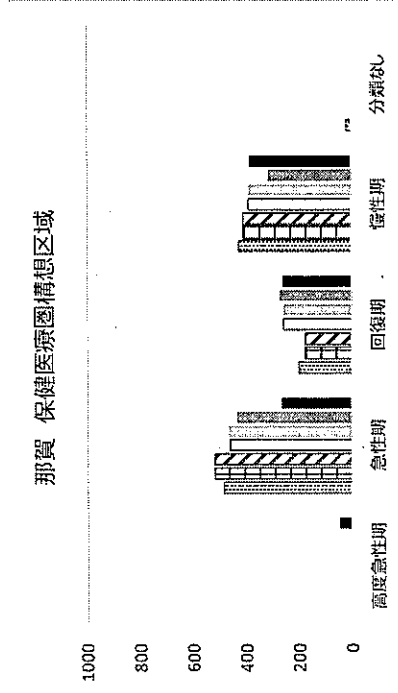
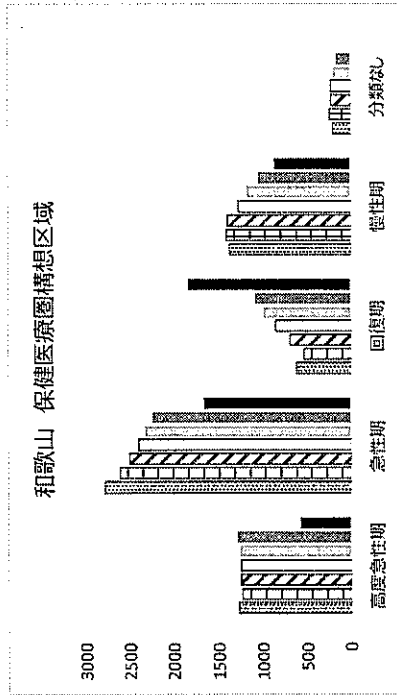
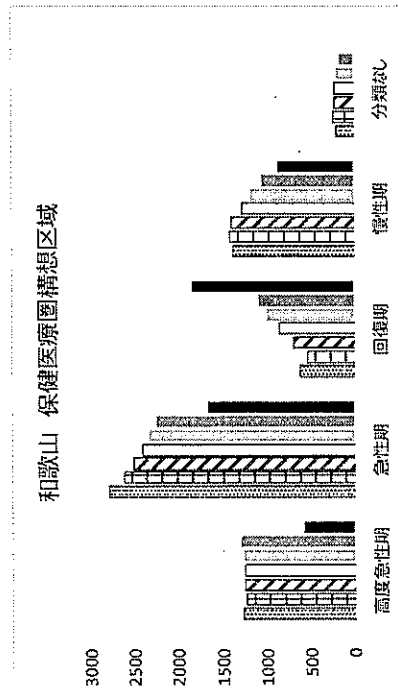
地域医療構想における「2025年の必要病床数」と現状の病床数

圏域名	医療機能	2015年 7月1日現在					2020年 7月1日現在					【2】 地域医療構想 における 2025年の 必要病床数					【1】－【2】 2020年と 2025年 必要病床数 との乖離				
		① 高度急性期	② 急性期	③ 回復期	④ 慢性期	⑤ 分類なし	小計	① 高度急性期	② 急性期	③ 回復期	④ 慢性期	⑤ 分類なし	小計	① 高度急性期	② 急性期	③ 回復期	④ 慢性期	⑤ 分類なし	小計		
和歌山	① 高度急性期	1,281					1,281	1,302					588	714							
	② 急性期	2,793					2,793	2,237				1,674	563								
	③ 回復期	622					622	1,087				1,836	749								
	④ 慢性期	1,377					1,377	1,050				863	187								
	⑤ 分類なし	199					199	164					184								
	小計	6,272					6,272	5,840				4,961	879								
那賀	① 高度急性期	483					483	438				48	48								
	② 急性期	198					198	274				267	171								
	③ 回復期	429					429	316				261	13								
	④ 慢性期	19					19					385	69								
	⑤ 分類なし																				
	小計	1,129					1,129	1,028				961	67								
橋本	① 高度急性期	6					6	10				65	55								
	② 急性期	498					498	465				267	198								
	③ 回復期	171					171	186				327	141								
	④ 慢性期	179					179	180				78	102								
	⑤ 分類なし	12					12														
	小計	866					866	841				737	104								
有田	① 高度急性期	350					350	219				146	73								
	② 急性期	85					85	233				148	85								
	③ 回復期	263					263	223				201	22								
	④ 慢性期(特例)																				
	⑤ 分類なし																				
	小計	698					698	675				495	180								
御坊	① 高度急性期	4					4	8				20	12								
	② 急性期	492					492	448				210	238								
	③ 回復期	97					97	123				191	68								
	④ 慢性期	274					274	279				234	45								
	⑤ 分類なし	38					38														
	小計	905					905	858				655	203								
田辺	① 高度急性期	36					36	113				120	7								
	② 急性期	926					926	646				404	242								
	③ 回復期	171					171	345				340	5								
	④ 慢性期	503					503	329				249	80								
	⑤ 分類なし	44					44	62					62								
	小計	1,680					1,680	1,495				1,113	382								
新宮	① 高度急性期	559					559	399				44	44								
	② 急性期	64					64	110				174	225								
	③ 回復期	397					397	341				212	102								
	④ 慢性期	44					44	40				154	187								
	⑤ 分類なし																				
	小計	1,054					1,054	890				584	306								
県計	① 高度急性期	1,327					1,327	1,433				885	548								
	② 急性期	6,101					6,101	4,852				3,142	1,710								
	③ 回復期	1,408					1,408	2,358				3,315	957								
	④ 慢性期	3,422					3,422	2,718				2,164	554								
	⑤ 分類なし	356					356	266					266								
	計	12,614					12,614	11,627				9,506	2,121								

左表の【1】を病院・診療所別にしたもの

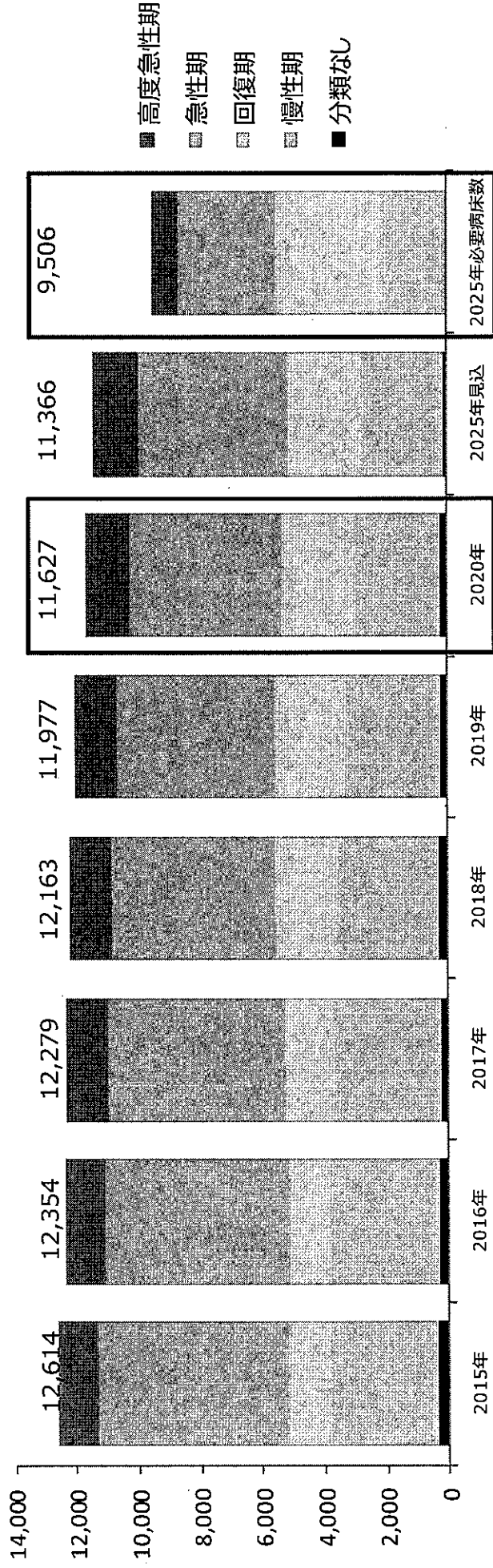
圏域名	報告対象 医療機関数	2020年7月1日 病床数 (括弧内は前年)						計
		高度急性期	急性期	回復期	慢性期	分類なし		
和歌山	68	1,302 (29)	2,237 (▲98)	1,087 (104)	1,050 (▲127)	164 (▲30)	5,840 (▲122)	
	病院	40	2,073 (▲77)	1,031 (104)	945 (▲127)	101 (▲30)	5,452 (▲101)	
	有床診療所	28	164 (▲21)	56	105	63	388 (▲21)	
那賀	12		438 (▲26)	274 (18)	316 (▲74)		1,028 (▲82)	
	病院	7	419	199	316 (▲55)		934 (▲55)	
	有床診療所	5	19 (▲26)	75 (18)	(▲19)		94 (▲27)	
橋本	9	10	465	186	180		841	
	病院	4	447	184	123		764	
	有床診療所	5	18	2	57		77	
有田	8		219	233	223		675	
	病院	5	190	233	204		627	
	有床診療所	3	29		19		48	
御坊	5	8	448 (▲10)	123	279		858 (▲10)	
	病院	4	448 (▲10)	123	261		840 (▲10)	
	有床診療所	1			18		18	
田辺	13	113 (77)	646 (▲77)	345 (▲20)	329 (▲52)	62 (24)	1,495 (▲48)	
	病院	8	113 (77)	634 (▲77)	291 (▲52)	54 (24)	1,418 (▲48)	
	有床診療所	5	12	19	38	8	77	
新宮	11		399	110 (▲19)	341 (▲69)	40	890 (▲88)	
	病院	7		370	341 (▲69)	2	823 (▲69)	
	有床診療所	4		29	(▲19)	38	67 (▲19)	
県計	126	1,433 (106)	4,852 (▲211)	2,358 (83)	2,718 (▲322)	266 (▲6)	11,627 (▲350)	
	病院	75	1,433 (106)	4,581 (▲164)	2,481 (▲303)	157 (▲6)	10,858 (▲283)	
	有床診療所	51		271 (▲47)	237 (▲19)	109	769 (▲67)	

構想区域ごとの病床数 (棒グラフ)



医療機能ごとの病床数の推移

県全体の許可病床数(一般病床・療養病床)の推移



県全体 (一般病床、 療養病床)	2015年 (平成27年)		2016年 (平成28年)		2017年 (平成29年)		2018年 (平成30年)		2019年 (令和元年)		2020年 (令和2年)		2025年見込 (令和7年)※		2025年必要病床数 (地域医療構想)	
	病床数	構成比	病床数	構成比	病床数	構成比	病床数	構成比	病床数	構成比	病床数	構成比	病床数	構成比	病床数	構成比
高度急性期	1,327	10.5%	1,293	10.5%	1,315	10.7%	1,315	10.8%	1,327	10.9%	1,433	11.8%	1,435	11.7%	885	7.3%
急性期	6,101	48.4%	5,922	47.9%	5,689	46.3%	5,263	43.3%	5,063	41.6%	4,852	39.9%	4,791	39.0%	3,142	25.8%
回復期	1,408	11.2%	1,340	10.8%	1,608	13.1%	2,046	16.8%	2,275	18.7%	2,358	19.4%	2,410	19.6%	3,315	27.3%
慢性期	3,422	27.1%	3,465	28.0%	3,399	27.7%	3,223	26.5%	3,040	25.0%	2,718	22.3%	2,614	21.3%	2,164	17.8%
分類なし	356	2.8%	334	2.7%	268	2.2%	316	2.6%	272	2.2%	266	2.2%	116	0.9%	0	0.0%
合計	12,614		12,354		12,279		12,163		11,977		11,627		11,366		9,506	

※2025年見込は、令和2年(2020年)病床機能報告において各医療機関から報告があった2025年の見込病床数

和歌山県全域の病床数は、2015年(平成27年)から2020年(令和2年)までの5年間で約1,000床減少した。そのうち、急性期病床は約1,200床減少、慢性期病床は約700床減少、回復期病床は約900床増加した。

病床機能報告による田辺保健医療圏医療機能別の許可病床数

令和元年度→令和2年度

医療機関名称	令和元年7月1日現在 (A)						令和2年7月1日現在 (B)						(B) - (A)					
	計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	分類なし	計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	分類なし	計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	分類なし
病院	1,466	36	711	346	373	0	1,418	113	634	326	291	54	▲ 48	77	▲ 77	▲ 20	▲ 82	54
南和歌山医療センター	316	22	248	46			316	62	208	46			0	40	▲ 40	0	0	0
紀南病院	352	14	288	50			352	51	251	50			0	37	▲ 37	0	0	0
白浜はまゆう病院	258		82	76	100		210		82	80	48		▲ 48	0	0	4	▲ 52	0
田辺中央病院	139		93	46			139		93	46			0	0	0	0	0	0
国保すさみ病院	72			72			72			48		24	0	0	0	▲ 24	0	24
白浜小南病院	199			22	177		199			22	147	30	0	0	0	0	▲ 30	30
玉置病院	66			34	32		66			34	32		0	0	0	0	0	0
南紀医療福祉センター	64				64		64				64		0	0	0	0	0	0
有床診療所	77	0	12	19	38	8	77	0	12	19	38	8	0	0	0	0	0	0
外科内科辻医院	19			19			19			19			0	0	0	0	0	0
真寿苑クリニック	19				19		19				19		0	0	0	0	0	0
辻村外科	19				19		19				19		0	0	0	0	0	0
榎本産婦人科	12		12				12		12				0	0	0	0	0	0
辻内科医院	8					8	8					8	0	0	0	0	0	0
総計	1,543	36	723	365	411	8	1,495	113	646	345	329	62	▲ 48	77	▲ 77	▲ 20	▲ 82	54

非稼働病床の状況

※ 病床機能報告における非稼働病床数とは・・・

「許可病床数」から「過去1年間に最も多く患者を収容した時点で使用した病床数」を差し引いた病床数のこと

【和歌山県全体】 2019年 → 2020年

2019年7月1日時点の非稼働病床（A）

圏域名	病 院			有床診療所			計		
	許可 病床数	非稼働 病床数	非稼働 割合	許可 病床数	非稼働 病床数	非稼働 割合	許可 病床数	非稼働 病床数	非稼働 割合
和歌山	5,553	305	5.5%	409	87	21.3%	5,962	392	6.6%
和歌山市	5,056	299	5.9%	348	82	23.6%	5,404	381	7.1%
海南地域	497	6	1.2%	61	5	8.2%	558	11	2.0%
那 賀	989	49	5.0%	121	11	9.1%	1,110	60	5.4%
橋 本	764	23	3.0%	77	2	2.6%	841	25	3.0%
有 田	627	13	2.1%	48	15	31.3%	675	28	4.1%
御 坊	850	2	0.2%	18	7	38.9%	868	9	1.0%
田 辺	1,466	126	8.6%	77	0	0.0%	1,543	126	8.2%
新 宮	892	43	4.8%	86	43	50.0%	978	86	8.8%
計	11,141	561	5.0%	836	165	19.7%	11,977	726	6.1%

（注）医療機関から修正報告があったため、令和2年度地域医療構想調整会議で示した数値から修正しています。



2020年7月1日時点の非稼働病床（B）

圏域名	病 院			有床診療所			計		
	許可 病床数	非稼働 病床数	非稼働 割合	許可 病床数	非稼働 病床数	非稼働 割合	許可 病床数	非稼働 病床数	非稼働 割合
和歌山	5,452	283	5.2%	388	83	21.4%	5,840	366	6.3%
和歌山市	4,955	278	5.6%	327	83	25.4%	5,282	361	6.8%
海南地域	497	5	1.0%	61	0	0.0%	558	5	0.9%
那 賀	934	40	4.3%	94	6	6.4%	1,028	46	4.5%
橋 本	764	31	4.1%	77	2	2.6%	841	33	3.9%
有 田	627	27	4.3%	48	15	31.3%	675	42	6.2%
御 坊	840	2	0.2%	18	2	11.1%	858	4	0.5%
田 辺	1,418	138	9.7%	77	8	10.4%	1,495	146	9.8%
新 宮	823	25	3.0%	67	38	56.7%	890	63	7.1%
計	10,858	546	5.0%	769	154	20.0%	11,627	700	6.0%

増減 2020年（B）－2019年（A）

圏域名	病 院			有床診療所			計		
	許可 病床数	非稼働 病床数	非稼働 割合	許可 病床数	非稼働 病床数	非稼働 割合	許可 病床数	非稼働 病床数	非稼働 割合
和歌山	-101	-22	-0.3%	-21	-4	0.1%	-122	-26	-0.3%
和歌山市	-101	-21	-0.3%	-21	1	1.8%	-122	-20	-0.2%
海南地域	0	-1	-0.2%	0	-5	-8.2%	0	-6	-1.1%
那 賀	-55	-9	-0.7%	-27	-5	-2.7%	-82	-14	-0.9%
橋 本	0	8	1.0%	0	0	0.0%	0	8	1.0%
有 田	0	14	2.2%	0	0	0.0%	0	14	2.1%
御 坊	-10	0	0.0%	0	-5	-27.8%	-10	-5	-0.6%
田 辺	-48	12	1.1%	0	8	10.4%	-48	20	1.6%
新 宮	-69	-18	-1.8%	-19	-5	6.7%	-88	-23	-1.7%
計	-283	-15	0.0%	-67	-11	0.3%	-350	-26	0.0%

※ 「海南地域」… 海南市及び紀美野町

第1回地域医療構想及び医師確保計画に 関するワーキンググループ	資料3
令和3年7月29日	

令和3年度病床機能報告の実施について

「稼働病床数」の取扱いについて

【現状の取扱いと課題】

(現状)

- 病床機能報告では、病床機能の分化・連携の取組の中で、病床規模等を検討する際の参考とすることができるよう、「稼働病床数」として、病棟ごとに、「過去1年間に最も多く入院患者を収容した時点で使用した病床数」の報告を求めているところ。

※ 記入要領において、「稼働病床数」について「許可病床数から過去1年間に一度も入院患者を収容しなかった病床数を除いた病床数」と定義。

同時に、注釈において、「過去1年間に一度も入院患者を収容しなかった病床数」は、「許可病床数から、過去1年間に最も多く入院患者を収容した時点で使用した病床数を差し引いて算出すること」としている。

※ 一般的な診療実績指標である「病床利用率」(1年間の平均入院患者数をベースに算出)については、病床機能報告の報告項目(入院患者延べ数、許可病床数、診療実日数)から算出可能。

(課題)

- 「稼働病床数」は、一般的な診療実績指標である「病床利用率」と大きな差があり、「許可病床数」とほぼ近似している状況にある。
- 病床機能の分化・連携の取組に関する検討に資するよう、病床の利用状況(年間を通じた変動の状況・病床機能ごとの状況)をより正確に把握する必要がある。

【対応案】

- 一般的な診療実績指標である「病床利用率」に加え、病床の利用状況(年間を通じた変動の状況等)をより正確に把握する観点から、以下のように取り扱うこととしてどうか。

- ① 病棟ごとに、「最大使用病床数」(過去1年間(※)に最も多く入院患者を収容した時点で使用した病床数/従来の「稼働病床数」に相当するもの)、任意(※1)で「最小使用病床数」(過去1年間(※)に最も少なく入院患者を収容した時点で使用した病床数)について報告を求めることとしてどうか。

* 過去1年間は、前年4月～報告年3月。

- ② ①の報告項目について、病棟ごとの報告だけでなく、当該病院全体での「最大使用病床数」及び「最小使用病床数(任意(※1))」(※2)を求めることとしてどうか。

※1 令和3年度報告は任意とする。

※2 病棟ごとの報告だけでは、各病棟の「最大使用病床数」や「最小使用病床数」が、それぞれ異なる日の病床数となる可能性があり、各病棟の報告値を単純に足し上げた場合、実態よりも過大・過小な数値となるおそれがある。

このため、病院全体での「過去1年間で最も多く入院患者を収容した時点で使用した病床数」「過去1年間に最も少なく入院患者を収容した時点で使用した病床数」についても、報告を求めもの。

※3 新型コロナウイルス患者の受入れに備えた空床確保や、感染管理・人員確保等のための休床を実施している医療機関では、本項目の数値が低くなることが想定される。このため、新型コロナウイルス対応のために入院患者を収容していない病床数については、「使用した病床数」に含めることとして差し支えない旨を明確化してはどうか。

令和3年度以降の報告項目に係る対応(案)

(1) 診療実績の項目について、令和2年度診療報酬改定に対応した見直しを行うこととしてはどうか。

※ 令和2年度病床機能報告では、令和3年度からの診療実績に関する報告の通年化を見据え、診療実績の報告を求めなかったことから、診療実績の項目について、令和2年度診療報酬改定に対応した見直しを行っていない。

(2) 診療実績について、1年分(前年4月～報告年3月)の月別の実績報告を求める方針。 (※1)
併せて、従来1年分(前年7月～報告年6月)の実績報告を求めていた項目(1年間の新規入棟患者数や救急車の受入件数等)についても、診療実績と報告対象期間を合わせる(前年4月～報告年3月)こととしてはどうか (※2)。

※1 第19回地域医療構想に関するWG(平成31年2月22日)及び第31回地域医療構想に関するWG(令和3年2月12日)において議論。

※2 第31回地域医療構想に関するWGの議論を踏まえ、月別に報告を求めつつ、月別の報告が困難な医療機関については、医療機関の負担を踏まえ、当面、月別の報告は注意とする方針。

* 令和3年度病床機能報告を地域医療構想調整会議等における協議で用いる際には、新型コロナウイルス対応のため、臨時的な増床を実施している医療機関、コロナ患者の受入に備えた空床確保や感染管理・人員確保等のための休床を実施している医療機関があることに留意する必要がある。
このため、都道府県において、一般医療に用いている病棟の状況等を把握・分析し、地域の協議に活用することができるよう、一般的な公表は行わないことを前提に、各医療機関に対し、以下のとおり対応を求めることとしてはどうか。
なお、新型コロナウイルス対応の詳細の状況(患者数、空床・休床の推移など)は、G-MISや新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金の実績により一定の分析が可能であり、医療機関の負担に配慮する観点から、病床機能報告で重ねて報告を求めることは行わない。

○ 一般医療に関する状況(病床利用率、病棟ごとの診療実績等)について、新型コロナウイルス対応を実施している病棟以外の病棟に関する分析を行うことができるよう、各病棟について、以下のとおり報告を求める。(令和3年7月1日時点)

・ 「①コロナ患者対応」、「②コロナ患者対応のための休床・休床」、「③コロナ回復後患者の受入」、「④それ以外(地域における役割分担の協議を踏まえた一般医療の提供など)」の4つから、該当するものを選択(複数選択可)

・ ①、②を選択した場合、それぞれの病床数

※ 「①コロナ患者対応」は、実際にコロナ患者(疑似症患者を含む)を受け入れている病棟、コロナ患者(疑似症患者を含む)受入に備えて確保している空床(新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金のうち、病床確保にかかる補助金を受けている病棟)を指す。

※ 「②コロナ患者対応のための休床・休床」は、コロナ対応に係る感染管理・人員確保等のための休床・休床(新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金のうち、病床確保にかかる補助金を受けている病棟)を指す。

○ 各病棟の許可病床数について、コロナ対応のために臨時的に増床した病棟(※)は含めないこととし、別途、報告を求めることとする。

※ 新型コロナウイルス感染症患者、疑似症患者及び無症状病原体保有者に関する診断及び治療に係る病床の確保のため、医療法第7条の2第7項の規定又は医療法第30条の4第10項の規定に基づく医療法施行令第5条の3第2項の規定に基づき、厚生労働大臣に協議を行い許可された病床。

なお、新型コロナウイルス感染症特別措置法31条の2第6項の規定に基づき、増床して都道府県知事に届出を行った病床については、許可病床数でないことから、従来からの報告項目にも含めず、別立てした項目も設けないこととする。

報告項目

<p>医療機能等</p>	<p>医療機能(現在/2025年の方向) ※介護施設に移行する場合は移行先類型</p>	<p>医療機能等</p>
<p>病床数、人員配置、機械等</p>	<p>・許可病床数、稼働病床数(一般・療養別) ・病棟全体が非稼働である場合はその理由 ・経過措置(1床当たり面積)に該当する病床数 ・算定する入院基本料・特定入院料 ・主とする診療科・設置主体 ・部門別職員数(医師、歯科医師、看護師、准看護師、看護補助者、助産師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、薬剤師数、臨床工学士、診療放射線技師、臨床検査技師、管理栄養士)、診療支援病院/診療所、在宅療養後方支援病院) ・特定機能病院、地域医療支援病院の承認 ・施設基準届出状況(総合入院体制加算、在宅療養支援病院/診療所、在宅療養後方支援病院) ・在宅療養支援病院である場合は看取り件数 ・三次救急医療施設、二次救急医療施設、救急告示病院的の有無 ・高機能医療機器の保有状況(CT、MRI、血管造影撮影装置、SPECT、PET、PETCT、PETMRI、強度変調放射線治療装置、遠隔操作式密封小線源治療装置、ガンマナイフ、サイバーナイフ、内視鏡手術用支援機器(ダウリンチ)) ・退院調整部門の設置状況 ※退院調整部門の配置職員数(医師、看護職員MSW、事務員)</p>	<p>入院患者の状況</p>
<p></p>	<p>・1年間の新規入棟患者数(予定入院・緊急入院別) ・在棟患者延べ数・退棟患者数 ・1年間/月間の新規入棟患者数(入棟前の場所別) ・1年間/月間の退棟患者数(退棟先の場所別、退院後の在宅医療の予定別)</p>	<p></p>

各病棟におけるコロナ対応の状況に係る報告の例

- (1) 病棟全体をコロナ患者受入病棟（空床確保を含む）としている場合

一般(50床)

→

コロナ50床

←

「①コロナ患者対応」を選択

「①コロナ患者対応」に用いている病床数：50床

「②コロナ患者対応のため休棟・休床」している病床数：0床

(2) 病棟全体をコロナ患者対応に係る人員確保のため休棟としている場合

一般(50床)

→

休棟

←

「②コロナ患者対応のため休棟・休床」を選択

「①コロナ患者対応」に用いている病床数：0床

「②コロナ患者対応のため休棟・休床」している病床数：50床

(3) 病棟の一部でコロナ患者受入を行い、その他の病床について、コロナ患者対応に係る人員確保のため休床している場合

一般(50床)

→

コロナ20床

休床30床

←

「①コロナ患者対応」 「②コロナ患者対応のため休棟・休床」を選択

「①コロナ患者対応」に用いている病床数：20床

「②コロナ患者対応のため休棟・休床」している病床数：30床

(4) 病棟の一部をコロナ患者受入病棟、コロナ回復後患者の受入は行っていないものとする。）

一般(50床)

→

コロナ10床

休床25床

一般15床

←

「①コロナ患者対応」 「②コロナ患者対応のため休棟・休床」 「④それ以外」を選択

「①コロナ患者対応」に用いている病床数：10床

「②コロナ患者対応のため休棟・休床」している病床数：25床

(5) 一般患者受入を行う病棟において、一部でコロナ回復後患者の受入を行う場合

一般(50床)

→

一般50床

コロナ回復後患者受入

←

「③コロナ回復後患者の受入」 「④それ以外」を選択

「①コロナ患者対応」に用いている病床数：0床

「②コロナ患者対応のため休棟・休床」している病床数：0床

10